

# 森下 さち子



2017年12月  
和歌山市会議員団  
TEL(435)1113  
FAX(421)4181

## 12月議会が 始まりました

1月29日開会で定例議会が始まりました。一般質問は12月1日からです。今回も5人全員が質問に立ちます。私は、すでに始まっている来年度予算編成について、その方向性が市民の要望に沿っているのかという観点で質したいと思っています。やりとりの詳細は来月号で報告します。

議会の様子は、インターネットでのリアルタイム中継をはじめ、録画でもご覧いただけます。



今年は寒波の到来がいつになく早かったので、10月の下旬にヒーターを出しました。少しは暖かさが戻る日もあるのでは…と思われましたが、そのまま寒さがどんどん進み、師走へと突入しました。夏の暑さも辛いものですが、私は寒さや肌、喉の乾燥、肩こりに悩まされる冬はどうしても好きになれません。ただ、澄んだ夜空に瞬く星のきらめきは、冬ならではのものです。ほっこり鍋やおでんをつついて、温かく過ごしたいものです。



## さっちゃんまつりへのご協力 ありがとうございます

今年も天気に恵まれ、予定どおり、鳴神社の広場で実施できました。

今年も日曜参観と重なったため、子どもたちの参加が少なめでしたが、餅つきは相変わらず人気で、子どもたちの歓声が響いていました。

野菜を提供してくださったFさんをはじめ、関係者のみなさんに心より感謝申し上げます。ささやかなお祭りではありますが、これからも地域のみなさんに楽しんでいただけるよう取り組んで参ります。



\*ぺったんぺったん お餅つき



\*熱唱！うたごえオールスターズ

## < 2018年度予算要求 >

日本共産党市議団は11月24日、北部地区委員会と連名で市長宛11項目にわたる要望書を提出しました。内容は以下の通りです。

- ① 本年10月22日、和歌山県を襲った台風21号による浸水被害について、市として被災の原因究明と河川の氾濫への抜本対策を早急に講じられたい。また、現在の災害支援制度は不十分だと思われることから、市営住宅への緊急入居対策や水道料金・下水道利用料の減免、被害住宅修繕等の支援制度の創設・拡充に取り組まれたい。
- ② 住宅リフォーム制度については3年間の事業で終わりとせず、耐震改修、福祉目的に加え、地元中小の建設業や関連企業に対する仕事づくりという観点の経済対策として改めて制度設計を改善して取り組まれたい。
- ③ 国民健康保険については、2018年度から始まる広域化において、保険料の引き上げは行わないようにされたい。
- ④ 旧同和対策として継続されている事業は特定の地域にのみ行われているものであり、却って地域住民の自立を阻害しているのみならず、地域間に新たな差別を生む要因となっていることからこれらの事業についてはやめられたい。
- ⑤ 子どもの医療助成制度について、所得制限を撤廃されたい。
- ⑥ 介護保険について、第7期における保険料については据え置きとされたい。国に対し介護報酬の切り下げを行わないよう、また、良質な介護を保障するためにも社会保障の財源を十分確保するよう求められたい。
- ⑦ 地域住民が反対している滝畑地域への安定型産業廃棄物最終処分場の建設計画については業者が断念するようあらゆる方策を講じられたい。
- ⑧ 市民の投票権を保障する手立ての一環として、期日前投票における移動投票所を実施されたい。
- ⑨ 0～2歳までの育休明けの保育所入所希望に対応するため、すべての公立保育所において、長時間保育と産休明け保育に対応できる体制を取られたい。
- ⑩ 高齢化に伴う免許の返納、和歌山バスの路線廃止などに対応できる、地域バス、デマンドタクシー、タクシーへの料金補助など市民の交通権を保障するための施策の充実を図られたい。
- ⑪ 和泉山脈に計画されているメガソーラーについては、地元自治会や関係団体から反対が広がっている中、暮らしや安全安心を守り、市民に寄り添う立場から、市長として明確に反対の意思を示されたい。

予算要望については、市長と懇談を進めるとともに、12月議会でも取り上げます。

### 無料法律相談

12月は1回のみです。

13日(水) 13:30～

津秦 森下佐知子事務所にて

事前の予約をお願いします。

435・1113 市役所控室 森下まで



二ニュースを出し始めた頃、議員としての活動とともに、私のオリジナルティを出すのであれば、自分自身の子育てにかかわることだと思いつき、結構長い期間、子育て日記を連載してきました。この日記を楽しみにしてください。多くいて、今でも「息子さん(娘も)どうしてるの?」と聞いてくださる方が少なからずあります。そのたびに、うちの子どもたちはみなさんに育ててもらったのだなあをつくづく感じる今日この頃。

23日に「和歌山市の保育を考えるシンポジウム」を開催しました。いつの時代も子育ては大きな課題。シンポジウム後の懇談会では、フランスから和歌山へ来て働いている方が日本の子育てのあり方に意見を述べてくれました。「社会で育てる」とはどういうことか。引き続き問い続けていきたいと思っています。